

PET-CT 検査をお受けになる患者さんへ

弘前大学医学部附属病院 放射線科

あなたの検査は、____年____月____日（____）____時____分からです。

なお、この検査の際は、最低限、以下をお守りください。

- ①. 検査前、最低でも4時間以上の絶食が必要です。
 - 当日____時____分以降は検査終了まで食事をとらないでください。
 - 糖尿病の方は、主治医による血糖値の調整が必要な場合があります。
- ②. 検査日時に忘れずにご来院ください。
 - 都合が悪くなったら、すぐにご連絡をお願いします。
- ③. 検査前や検査の途中では、なるべく運動しないでください。
- ④. 当日、糖分を含まない飲用水 500ml をご持参ください。
 - (ペットボトルのミネラルウォーターなど)

以下もよくお読みのうえ、ご理解くださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

【どんな検査？】

- 陽電子（ポジトロン）を放出する放射性薬剤を静脈注射して、細胞の活動状態を画像化する検査です。同時に、画像の重ね合わせや、ポジトロン画像の補正の目的で、X線CT撮影（コンピューター断層撮影）も行います。

【使用するお薬、原理；なにがわかるのか？】

- $^{18}\text{F-FDG}$ （フルオロデオキシグルコース）と呼ばれる、ブドウ糖に似た放射性薬剤を使います。これは、ブドウ糖の取り込みの活発な細胞・臓器に取り込まれます。もしブドウ糖の取り込みが活発な腫瘍があれば、それにも取り込まれます。
- これを体外から検出して、腫瘍の検出や、臓器の診断を行います。

【検査前の準備は？】

- 血糖値が高いと、 $^{18}\text{F-FDG}$ は細胞や腫瘍に取り込まれません。そのため、通常は検査前の最低4時間以上の絶食が必要です。糖分を含まない水分は飲んでも構わないですが、ガムや飴などもふくめ、食事はとらないでください。
- 糖尿病などで絶食が難しい方は、主治医にご相談ください。
- 検査前の運動は検査結果に影響しますので、お控えください。徒歩や自転車で来院される方は、30分ぐらい安静にしてから検査しますので、早めにいらしてください。

【検査の流れ】

- 検査予約時間の30分前にお越しください。受付後、核医学検査室にいらしてください。放射線科が初めての方は、新患の受付の後、まず放射線科外来にお越しください。
- 検査前に、問診や、血糖値確認のための採血を行う場合があります。
- 検査着に着替えていただいた後、お薬を注射します。また、お水を飲んでいただきます。
- 全身にお薬がいきわたるように、注射後約1時間は安静にしてお休みいただきます。検査に影響しますので、食事や、注射後の運動や読書、テレビや音楽などの鑑賞はできません。
- 検査前に排尿していただきます。

- 台に横になり、写真を撮っていきます。撮り方にもよりますが、30分前後かかります。
- 場合によっては、時間をおいて再度写真を撮ることもあります。
- 会計後、ご帰宅いただきます。検査後は、食事や運動の制限はありません。
- 以上、半日がかかりとなる場合もあります。時間には十分な余裕をおもちください。

【検査結果】

- 検査当日には結果は出ません。後日、依頼された科や医療機関からお聞きください。

【検査の被曝は？】

- 1回のPET-CT検査で、放射性薬剤とCTをあわせて、胃のバリウム検査とほぼ同等の被曝があるといわれています。むやみに続けて何度も行うようなことをしなければ、医学的に問題となる可能性はきわめて低いと考えられ、被曝による不利益よりは、検査によって得られる情報の有益性の方がはるかに高いといえます。

【お薬の副作用】

- $^{18}\text{F-FDG}$ は、国内の臨床試験において、287例中13例（4.5%）に副作用や臨床検査値の異常（気分不良1件、嘔吐1件、血圧低下1件、尿潜血陽性4件、血中カリウム増加3件、尿糖陽性2件）が認められたとされています。ただ、これら全てがお薬によるものと断定できず、他の原因の可能性もあります。 $^{18}\text{F-FDG}$ はブドウ糖に似た物質であり、ブドウ糖で副作用がある人がほとんどいないように、このお薬による副作用の可能性は極めて低いと考えられます。検査は万全の態勢のもとで行われ、万が一副作用が発生しても、担当医や主治医などが速やかかつ適切に対処いたします。

【料金】

- 全額で10万円前後（うち、お薬の価格が税込48,300円）です。保険適用の場合、通常はそのうちの3割、3万円前後が自己負担額となります。自由診療の場合、PET-CTで98,700円です。保険適用の有無など疑問の際は主治医におたずねください。

【お守りいただきたい点】

- $^{18}\text{F-FDG}$ は放射性薬剤のため時間がたつとなくなり、当院では製造もできないので、検査のたびにメーカーからの供給を受けています。そのため、薬剤が届いているにもかかわらず検査をしなければ、無駄になってしまいます。つきましては、**都合で検査日時に来院できなくなった場合は、必ず放射線科外来までご連絡下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。**なお、もし連絡なしに来院されなかった場合、無駄になったお薬の費用をご負担いただく場合がありますことを申し添えます。

【ご了解いただきたい点】

- 上記同様の理由で、予約時間より遅れて来院されると、検査できないことがあります。
- 検査前の絶食をお忘れになった場合や、血糖コントロールが不良で検査時の血糖値が高すぎる場合も、検査中止となることがあります。
- 交通事情による薬剤輸送の障害や、装置のトラブルになどによる検査時間の遅れ、延期、中止もあり得ます。その際はなにとぞご了承ください。
- 検査当日は、外来の診察や、他の検査を受けることはできません。
- 検査の終了の当日は、妊婦や乳幼児との接触は、できるだけお避けください。授乳中の方は、検査終了の当日は授乳をしないでください。いずれも検査の翌日は普段通りでもさしつかえありません。
- ご家族が付き添われていらしても構いませんが、待機室内での付き添いはできません。

他にも何か疑問な点がございましたら、主治医（検査の目的、理由、概要、注意事項など）や、放射線科担当医、放射線技師（検査の概要、注意事項など）などにおたずねください。

弘前大学医学部付属病院放射線科外来 電話0172（39）5280